

令和5年9月

公益財団法人熊本県移植医療推進財団
の経営状況を説明する書類

熊 本 県

目 次

令和 4 年度事業報告及び令和 4 年度収支決算・・・・・・・・・・ 1

令和 5 年度事業計画及び令和 5 年度収支予算・・・・・・・・・・ 1 6

令和4年度事業報告及び令和4年度収支決算

【令和4年度事業報告】

(事業目的)

移植医療の普及推進と目と臓器に関する保健衛生の知識の啓発を図り、県民の健康増進及び福祉の向上に寄与することを目的に、眼球提供希望者の募集、眼球移植希望者の調査及び相談、角膜及び強膜のあっせん、臓器移植希望者の組織適合性検査費用の助成、移植医療に関する調査及び研究並びに支援に関する事業を行うものとする。

1. 普及啓発事業

移植医療に対する県民の理解と協力が得られるよう、パンフレット等を作成し、医療機関等に配布し、移植医療に関する知識の普及啓発にあたった。

コロナ禍で各団体主催の会等も中止を余儀なくされ、関係団体等における啓発活動にも支障をきたした。

(1) 各種行事での普及啓発

1) オンライン移植医療県民公開講座

「臓器移植法施行25周年記念 移植医療県民公開講座2022

～One teamで一步前へ!」

日程 令和4年10月1日(土)

場所 オンライン開催(応募総数434名)

主催 熊本県、(公財)熊本県移植医療推進財団、KKTくまもと県民テレビ

後援 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本市

共催 (公社)日本臓器移植ネットワーク、熊本県移植医療推進ネットワーク協議会、
(一社)日本移植学会 熊本県腎移植者の会

2) グリーンライトアッププロジェクト2022

開催期間: 令和4年10月11日(火)～令和4年10月17日(月)

開催場所: 熊本城他19か所

3) グリーンリボンキャンペーン

開催期間: 令和4年10月11日(火)～令和4年10月31日(月)

開催場所: 熊本県庁他5か所

4) 熊本県腎移植者の会黄色い羽根募金運動街頭キャンペーン

コロナウイルス感染拡大のため中止

(2) 感謝状の贈呈

1) 献眼者の葬儀に参列し、御遺族に対し代表理事感謝状の贈呈を行った。

令和4年度 参列2件(献眼数11件)、感謝状贈呈のみ8件

2) 献眼者を顕彰するため、厚生労働大臣感謝状を申請し、贈呈を行った。

令和4年度 11件(献眼数11件)

- 3) 熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会の主催
により、献眼者慰霊碑へ献花を行った。
日時 令和4年11月22日(火)
場所 熊本市動植物園

(3) 普及啓発チラシ等の作成

- 1) 『ざいだん NEWS』の発行

令和元年度に財団設立40年シンポジウムの開催に合わせ広報誌として発行し、当年度は第3号、第4号を作成し、賛助会員に送付、及び関係各所に配布した。

(4) 講義・講話・研修の実施

- 1) 熊本県警察学校

日時 令和4年6月22日(水)

内容 講義 「臓器提供と検視の関わり」

- 2) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会の開催(年2回以上)
熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会を開催し、各医療機関等の連携構築に必要な調整を行った。

- (1) 第1回 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 移植医療施設部会

日時 令和4年10月27日(木) 18:30~20:00

ホテル熊本テルサ ひばり

- (2) 第2回 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 移植医療施設部会

日時 令和5年2月24日(金) 18:30~20:00

ホテル熊本テルサ ひばり

- 3) 臓器移植院内コーディネーター研修会等の開催

県内38医療機関に設置している臓器移植院内コーディネーター向けの研修会を開催し、コーディネーターの養成及び資質向上を行った。

<Web講演会>

- (1) 令和4年12月14日(水) 18:00~19:30

熊本労災病院 院長 猪俣 裕紀洋 先生

「ガイドラインの一部改正について」

熊本労災病院 小児外科部長 大矢 雄希 先生

「心停止下臓器提供を経験して」

【参加者】50アクセス(個人・施設)

- (2) 令和5年1月30日(月) 18:00~19:30

国立病院機構熊本医療センター 救命救急部長 櫻井 聖大 先生

「臓器提供が中止となった1例」

熊本赤十字病院 第二救急科部長 桑原 謙 先生

「臓器提供のピットフォール」

【参加者】29アクセス(個人・施設)

(3) 令和5年 2月16日(木) 18:00~19:30

荒尾市民病院 相談支援センター 湯藤 陽子 先生

「荒尾市民病院の臓器提供に関する取り組み」

荒尾市民病院 統括診療部長兼救急科部長兼HCU部長 松園 幸雅 先生

「5類型に該当しない施設での組織提供の経験」

【参加者】31アクセス(個人・施設)

一部研修会については、熊本県臓器移植コーディネーターが実施する都道府県支援事業研修会と共催。

4) 臓器移植院内コーディネーター等の研修に係る補助

臓器移植院内コーディネーターや熊本県移植医療推進協議会移植医療施設部会の医師等に対して学会や研修会等への参加費を補助し、コーディネーターの資質の向上を図った。

< 補助対象研修会 >

(1) 第21回 JATCO総合研修会 ドナーコース

(2) 第50回 日本集中治療学会学術集会

< 補助内容 >

5類型施設から延べ5名、参加費の約263,000円を補助

5) 先進的な活動等の視察研修

先進的な取り組みや効果的な普及啓発活動等を行っている自治体や医療機関等に熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会員や提供側・移植側の医療関係者等を派遣し、実際の活動を学ぶ。

日 時：令和5年1月25日(水)~令和5年1月27日(金)

視察先：公益財団法人石川県臓器移植推進財団(石川県腎友会の「黄色い羽根募金」)、公益財団法人富山県アイバンク

新型コロナウイルス感染拡大のため視察中止

(5) 移植医療ボランティアの育成

熊本赤十字病院、熊本県腎移植者の会と連携し、移植ボランティアを育成し「黄色い羽根募金活動(熊本県腎移植者の会主催)」等を行った。(公社)熊本県医師会、(一社)熊本県歯科医師会、(公社)熊本県薬剤師会等、県下約3,000ヶ所に資材等送付した。

2. 提供者募集管理業務

臓器移植には、健康な臓器提供希望者が不可欠であるため、県民の健康に関する普及啓発を図り、健康保険証・運転免許証・マイナンバーカードの意思表示欄への記入を呼びかけることにより、臓器提供者の募集を行うことを目的に新成人を対象に普及啓発資材を配布した。

令和4年度 新成人数約：17,500名 配布枚数：10,000枚(熊本市配布対象外)

臓器(角膜)提供意思登録については、日本臓器移植ネットワーク、日本アイバンク協会のホームページ上でのオンライン登録によって募集が行われている。

3. 移植希望者の調査事業

(1) 腎移植希望者登録

熊本県内腎移植希望登録者 165名 (全国14,080名)

令和4年12月31日現在

(2) 角膜移植待機患者数調査 (公益財団法人日本アイバンク協会との連携)

毎月、移植施設による移植待機患者の報告を集計し、日本アイバンク協会、九州各県アイバンク連絡協議会へ報告を行った。

令和5年3月31日現在の待機患者数 152名

4. 摘出あっせん業務

先天的又は後天的な角膜、強膜の疾患により、視力低下又は失明した方に対して角膜、強膜の移植により視力を回復させることを目的に、安全性の確保された角膜、強膜を公平、公正にあっせんした。

提供者数 11名、移植実施者数 17名 (保存眼1眼含む)

5. 組織適合検査の助成事業

腎移植希望者の新規登録のための組織適合検査 (HLA 検査) 費用が、税込 26,400円と高額なことから、検査費用の一部補助 (1人9,000円) を実施した。

令和4年度実績 21件 (総額189,000円)

6. 移植調査研究事業

移植医療推進に係る会議等へ参加した。

(1) 全国アイバンク連絡協議会 (WEB 開催)

日時 令和5年2月17日 (金) 13:30~16:00

1) 月報および国会報告に関して 統計情報委員会活動報告

2) 中核アイバンクからの報告

(2) 全国移植医療支援組織会議への参加 (アンケート回答のみ)

7. その他事業

(1) 各種会議

下記のとおり理事会及び評議員会を開催し、全て承認された。

1) 定例第1回理事会【文書審議】

令和4年6月9日 議事録署名

第1号議案 令和3年度事業報告 (案) 及び収支決算 (案) について

第2号議案 令和4年度役員、推進委員、評議員の改選及び役員の交代 (案) について

第3号議案 令和4年度事務局員の追加について

2) 定例第2回理事会 【文書審議】

令和5年3月22日 議事録署名

第1号議案 令和4年度補正予算について

第2号議案 令和5年度事業計画 (案) について

- 第3号議案 令和5年度収支予算(案)について
- 第4号議案 基金の取扱いについて
- 第5号議案 「公益財団法人熊本県移植医療推進財団職員等任用規定」等の一部改正について

3) 評議員会 【文書審議】

令和4年6月24日議事録署名

第1号議案 令和3年度事業報告(案)及び収支決算(案)について

第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算について

第3号議案 令和4年度役員、推進委員、評議員の改選及び役員の交代(案)について

第4号議案 令和4年度事務局委員の追加(案)について

(2) 関連機関との協議会等

- 1) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会
- 2) その他(ライオンズクラブ三献協力会議)

(3) 当財団の事業を広く紹介

(4) 臓器移植連絡調整者設置事業

国民の臓器提供に関する意思を十分理解できるよう支援するとともに、円滑な臓器移植を実施するため、専門的立場から医療機関等に対する普及啓発活動及び臓器提供の可能性が生じた際に、関係者間の連絡調整等の諸活動を行った。

(5) 臓器移植院内コーディネーター連携構築事業

臓器移植院内コーディネーターの役割は、提供施設内で患者とその家族の臓器提供に関する意思確認から臓器提供の一連の流れが円滑に進むように、院内体制整備、ドナー候補者の把握、臓器提供の意思確認、他部門との連携、院内における教育や普及啓発活動等多岐にわたり、専門的な知識を必要とするため研修会の開催や、日本臓器移植ネットワークが共催しているセミナー等へ派遣を行い資質向上を図った。

(6) 都道府県支援事業

都道府県内における臓器移植に関するあっせん業務を公平、公正、適切かつ安定的に実施する体制の構築、及び臓器提供に関する国民の意思を確実に活かすことができるような院内体制を整備するため、都道府県内の臓器移植関係者が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討、教育・研修活動や啓発活動を行った。

(様式 1 - 1)

貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	658,854	11,319,198	△ 10,660,344
未収入金	10,816,030	2,646,692	8,169,338
流動資産合計	11,474,884	13,965,890	△ 2,491,006
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金肥後銀行県庁支店	0	0	0
定期預熊本銀行日赤通支店	10,000,000	10,000,000	0
普通預金ゆうちょ銀行	8,331,000	8,331,000	0
有価証券 肥後銀行県庁支店	0	0	0
有価証券 熊本銀行日赤通支店	170,014,000	169,993,000	21,000
有価証券みずほ	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	288,345,000	288,324,000	21,000
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
器具備品	8,594,455	8,484,655	109,800
器具備品減価償却累計額	△ 8,521,251	△ 8,328,184	△ 193,067
その他の固定資産合計	73,204	156,471	△ 83,267
固定資産合計	288,418,204	288,480,471	△ 62,267
資産合計	299,893,088	302,446,361	△ 2,553,273
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	40,238	0	40,238
未払費用	2,773,715	7,014,322	△ 4,240,607
流動負債合計	2,813,953	7,014,322	△ 4,200,369
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,813,953	7,014,322	△ 4,200,369
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基金	288,331,000	288,331,000	0
指定正味財産合計	288,331,000	288,331,000	0
(うち基本財産への充当額)	(288,345,000)	(288,324,000)	(21,000)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	8,734,135	7,108,039	1,626,096
一般正味財産	8,734,135	7,108,039	1,626,096
正味財産合計	297,079,135	295,432,039	1,647,096
負債及び正味財産合計	299,893,088	302,446,361	△ 2,553,273

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の有価証券・・・償却原価法

固定資産の減価償却方法について

固定資産の減価償却方法・・・器具備品は定率法によっている

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券 熊本銀行	69,972,000	28,000		70,000,000
有価証券 熊本銀行	100,021,000		7,000	100,014,000
大口定期 熊本銀行	10,000,000			10,000,000
有価証券 みずほ証券	100,000,000			100,000,000
普通預金 ゆうちょ銀行	8,331,000			8,331,000
小 計	288,324,000	28,000	7,000	288,345,000
合 計	288,324,000	28,000	7,000	288,345,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
有価証券 熊本銀行	70,000,000	(70,000,000)	()	()
有価証券 熊本銀行	100,014,000	(100,014,000)	()	()
大口定期 熊本銀行	10,000,000	(10,000,000)	()	()
有価証券 みずほ証券	100,000,000	(100,000,000)	()	()
普通預金 ゆうちょ銀行	8,331,000	(8,331,000)	()	()
小 計	288,345,000	(288,345,000)	()	()
合 計	288,345,000	(288,345,000)	()	()

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	6,317,100	6,243,896	73,204
合 計	6,317,100	6,243,896	73,204

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
熊本銀行 第329回利付国庫債券	70,000,000	70,147,000	147,000
熊本銀行 第338回利付国庫債券	100,014,000	100,960,000	946,000
みずほ証券 255回住宅金融支援機構債券	100,000,000	93,890,000 Δ	6,110,000
合 計	270,014,000	264,997,000 Δ	5,017,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
普及啓発事業補助金	熊本県		1,600,000	1,600,000		
合 計			1,600,000	1,600,000		

(様式2-1)

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,508,185	1,508,175	10
基本財産利息収入	1,508,185	1,508,175	10
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	773,000	902,000	△ 129,000
賛助会費	773,000	902,000	△ 129,000
事業収益	16,490,400	5,846,692	10,643,708
角膜幹旋手数料	3,400,000	3,200,000	200,000
委託料収入	13,090,400	2,646,692	10,443,708
受取補助金等	1,600,000	20,000	1,580,000
補助金収入	1,600,000	20,000	1,580,000
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	4,059,514	3,230,189	829,325
寄付金収入	4,059,514	3,230,189	829,325
雑収益	202,499	177	202,322
その他利息収入	129	177	△ 48
雑収入	202,370	0	202,370
経常収益計	24,633,598	11,507,233	13,126,365
(2) 経常費用			
事業費	16,330,351	8,876,467	7,453,884
人件費	7,325,513	5,611,132	1,714,381
HLA検査助成費	171,000	216,000	△ 45,000
旅費	747,128	194,030	553,098
通信費	18,234	32,900	△ 14,666
消耗品費	1,588,927	139,810	1,449,117
普及費	3,651,556	0	3,651,556
諸費	183,211	32,560	150,651
広告費	8,338	281,154	△ 272,816
交通費	132,050	124,650	7,400
謝礼金	677,368	715,330	△ 37,962
研修費	960,300	851,053	109,247
薬品費	51,334	173,030	△ 121,696
印刷費	465,000	345,520	119,480
管理費	157,325	0	157,325
減価償却費	193,067	159,298	33,769
管理費	6,677,151	2,393,762	4,283,389
人件費	3,651,827	991,510	2,660,317
法定福利費	463,438	0	463,438
通信費	318,270	241,653	76,617
消耗品費	433,101	412,582	20,519
諸費	799,325	170,427	628,898
交通費	2,490	1,990	500
負担費	75,300	64,100	11,200
会議費	0	53,000	△ 53,000
管理費	933,400	458,500	474,900
経常費用計	23,007,502	11,270,229	11,737,273
評価損益調整前経常増減額	1,626,096	237,004	1,389,092
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
当期経常増減額	1,626,096	237,004	1,389,092
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,626,096	237,004	1,389,092
一般正味財産増減額	1,626,096	237,004	1,389,092
一般正味財産期首残高	7,108,039	6,871,035	237,004
一般正味財産期末残高	8,734,135	7,108,039	1,626,096
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	28,000	28,000	0
基本財産評価益	28,000	28,000	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	7,000	7,000	0
基本財産評価損	7,000	7,000	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	21,000	21,000	0
指定正味財産期首残高	288,324,000	288,303,000	21,000
指定正味財産期末残高	288,345,000	288,324,000	21,000
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	297,079,135	295,432,039	1,647,096

(様式2-3)

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
	移植推進事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,508,185	1,508,185
基本財産利息収入	0	1,508,185	1,508,185
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	0	773,000	773,000
賛助会費	0	773,000	773,000
事業収益	16,490,400	0	16,490,400
角膜幹旋手数料	3,400,000	0	3,400,000
委託料収入	13,090,400	0	13,090,400
受取補助金等	1,600,000	0	1,600,000
補助金収入	1,600,000	0	1,600,000
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	4,059,514	4,059,514
寄付金収入	0	4,059,514	4,059,514
雑収益	123,610	78,889	202,499
その他利息収入	0	129	129
雑収入	123,610	78,760	202,370
経常収益計	18,214,010	6,419,588	24,633,598
(2) 経常費用			
事業費	16,330,351	0	16,330,351
人件費	7,325,513	0	7,325,513
HLA検査助成費	171,000	0	171,000
旅費	747,128	0	747,128
通信費	18,234	0	18,234
消耗品費	1,588,927	0	1,588,927
普及費	3,651,556	0	3,651,556
諸費	183,211	0	183,211
広告費	8,338	0	8,338
交通費	132,050	0	132,050
謝礼金	677,368	0	677,368
研修費	960,300	0	960,300
薬品費	51,334	0	51,334
印刷費	465,000	0	465,000
管理費	157,325	0	157,325

(単位：円)

科 目	公益目的事業		法人会計	合計
	移植推進事業			
減価償却費	193,067		0	193,067
管理費	0		6,677,151	6,677,151
人件費	0		3,651,827	3,651,827
法定福利費	0		463,438	463,438
通信費	0		318,270	318,270
消耗品費	0		433,101	433,101
諸費	0		799,325	799,325
交通費	0		2,490	2,490
負担費	0		75,300	75,300
管理費	0		933,400	933,400
経常費用計	16,330,351		6,677,151	23,007,502
評価損益調整前経常増減額	1,883,659	△	257,563	1,626,096
基本財産評価損益等	0		0	0
特定資産評価損益等	0		0	0
投資有価証券評価損益等	0		0	0
評価損益等計	0		0	0
当期経常増減額	1,883,659	△	257,563	1,626,096
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0		0	0
固定資産受贈益	0		0	0
経常外収益計	0		0	0
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0		0	0
固定資産減損損失	0		0	0
災害損失	0		0	0
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
当期一般正味財産増減額	1,883,659	△	257,563	1,626,096
一般正味財産増減額	1,883,659	△	257,563	1,626,096
一般正味財産期首残高	3,743,662		3,364,377	7,108,039
一般正味財産期末残高	5,627,321		3,106,814	8,734,135
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0		0	0
受取負担金	0		0	0
受取寄付金	0		0	0
固定資産受贈益	0		0	0
基本財産評価益	28,000		0	28,000
基本財産評価益	28,000		0	28,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
	移植推進事業		
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	7,000	0	7,000
基本財産評価損	7,000	0	7,000
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	21,000	0	21,000
指定正味財産期首残高	288,324,000	0	288,324,000
指定正味財産期末残高	288,345,000	0	288,345,000
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	293,972,321	3,106,814	297,079,135

財 産 目 録

令和 5 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 当座預金	ゆうちょ銀行	公益目的事業の財源として使用	6,460
	普通預金		公益目的事業の財源として使用	7,644
	未収入金	肥後銀行県庁支店	公益目的事業の財源として使用	303,070
		熊本銀行日赤通支店		275,087
		ゆうちょ銀行県庁支店		66,593
		熊本県・委託料	公益目的事業の財源として使用	8,276,400
		角膜幹旋手数料		1,800,000
	日本臓器移植ネットワーク・活動費	739,630		
流動資産合計				11,474,884
(固定資産)	基本財産	熊本銀行日赤通支店	公益目的事業の財源として使用	10,000,000
			有価証券	公益目的事業の財源として使用
	特定資産 その他固定資産	普通預金	熊本銀行日赤通支店	100,000,000
			みずほ証券熊本支店	8,331,000
		器具備品		73,204
固定資産合計				288,418,204
資産合計				299,893,088
(流動負債)	未払費用	人件費 映像制作費、謝礼費等	熊本赤十字病院へ	1,623,473
			公益目的事業に関する支払い分	1,150,242
	預り金	所得税 互助会費	給与、謝礼金の源泉所得税	38,041
			職員からの預り金	2,197
流動負債合計				2,813,953
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				2,813,953
正味財産				297,079,135

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産			有価証券熊本銀行日赤通支店 70,000,000円	移植医療推進事業
基本財産			有価証券熊本銀行日赤通支店 100,014,000円	移植医療推進事業
基本財産			定期預金熊本銀行日赤通支店 10,000,000円	移植医療推進事業
基本財産			有価証券みずほ証券熊本支店 100,000,000円	移植医療推進事業
基本財産			普通預金ゆうちょ銀行県庁支 8,331,000円	移植医療推進財団
器具備品			薬品保冷库他 73,204円	
合計			288,418,204円	

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券熊本銀行	69,972,000	28,000		70,000,000
	有価証券熊本銀行	100,021,000		7,000	100,014,000
	大口定期熊本銀行	10,000,000			10,000,000
	有価証券みずほ証券	100,000,000			100,000,000
	普通預金ゆうちょ銀行	8,331,000			8,331,000
	基本財産計	288,324,000	28,000	7,000	288,345,000

令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算

【令和5年度事業計画】

(事業目的)

移植医療の普及推進と目と臓器に関する保健衛生の知識の啓発を図り、県民の健康増進及び福祉の向上に寄与することを目的に、眼球提供希望者の募集、眼球移植希望者の調査及び相談、角膜及び強膜のあっせん、臓器移植希望者の組織適合性検査費用の助成、移植医療に関する調査及び研究並びに支援に関する事業を行うものとする。

1. 普及啓発事業

移植医療に対する県民の理解と協力が得られるよう、啓発のためのポスター・パンフレット等を市町村、保健所、医療機関等に配布するとともに、報道機関等を通じての移植医療に関する知識の普及啓発を行う。

また、県内各団体、関係機関における啓発活動を進めるため、移植医療関係の市民公開講座や研修会等を開催する。

(1) 各種行事での普及啓発

1) 市民公開講座、研修会、例会等

市民公開講座や研修会、熊本県下の協力団体の例会を活用し、移植医療に関する知識の普及啓発を行う。

2) グリーンライトアップ

グリーンリボンデーの10月16日(月)を中心に、県内の医療機関やランドマーク等を移植医療のシンボルカラーでグリーンにライトアップし、移植医療への理解と協力を呼び掛けるためのグリーンライトアッププロジェクトの実施及び県内企業等に対して参加呼びかけを行う。

3) 熊本県腎移植者の会黄色い羽根募金運動街頭キャンペーン

下通アーケードにて臓器提供・臓器移植等に関するパンフレットの配布と黄色い羽根募金運動を行う。(熊本県腎移植者の会との共催により実施、令和5年11月予定)

(2) 感謝状の贈呈

1) 献眼者の御遺族に対し、感謝状を贈呈する。

2) 献眼者を顕彰するため、厚生労働大臣感謝状を申請し、贈呈する。

(3) 財団の会報「ざいだん NEWS」や普及啓発資材等の作成及び活用

1) ざいだん NEWS を年1回発行し、財団の活動について広く県民や賛助会員等へ周知する。

2) 献眼や臓器提供に関するパンフレット等を作成し、医療機関に配布し、臓器移植院内コーディネーター等を通して周知する。

(4) 講義・講話の実施

1) 医療関係機関・学生・生徒に対する講義

2) ライオンズクラブ等各団体の会合等での講話

3) その他(出前講座等)

(5) 熊本県腎移植者の会、他関係団体との連携

公益社団法人日本臓器移植ネットワークや公益財団法人日本アイバンク協会、ライオンズクラブ国際協会 337-E 地区、熊本県腎移植者の会等と連携し、県民の健康増進や移植医療に対する意識向上を推進する。

(6) マスメディアによる普及啓発

ラジオ、テレビ、新聞等のマスコミに対し、移植医療に関する情報提供を行う。

(7) 移植医療ボランティアの育成

熊本赤十字病院と連携し、移植ボランティアを募り研修を行い、普及啓発、賛助会員の募集その他事業に協力してもらうよう育成を行う。

(8) 熊本県移植医療推進財団のホームページのさらなる活用及び会報等による情報発信

ホームページやざいだん NEWS を活用し、積極的に情報発信を行う。また他の団体との積極的な相互リンクにより、情報の入手をより簡便にする。

2. 提供者募集管理業務

移植医療の現状や県民の健康等に関する知識向上について普及啓発を図り、意思表示カード等への記入を呼びかけることにより、臓器提供者の募集を行う。

(1) 臓器提供意思表示ツールの周知及び記入率の向上

- 1) 臓器提供意思表示についてのパンフレット等は、国及び日本臓器移植ネットワークから各自治体、郵便局、コンビニエンスストア等へ配布されているが、当財団としても、県と協力して、引き続き免許センター、病院、診療所、歯科医院、薬局、銀行等に普及啓発資材等を設置していく。
- 2) 県内各市町村成人式で、新成人を対象に普及啓発資材等を配布する。
- 3) 健康保険証、運転免許証の裏面、マイナンバーカードの表面の意思表示欄への記入について周知し推進するなど記入率の向上を目指す。

(2) 臓器提供意思登録

日本臓器移植ネットワーク、日本アイバンク協会のオンライン登録による登録者募集を行う。

3. 移植希望者の調査事業

移植医療機関と連携して移植を受けたい人の希望がかなうようにサポートする。

(1) 移植希望者等の相談業務（一般的な移植についての相談、登録手続き等について）

熊本県臓器移植コーディネーターと連携し、移植希望者等の相談対応を行う。

(2) 角膜移植待機患者数調査(公益財団法人日本アイバンク協会との連携)

毎月、移植待機患者数を取りまとめ、日本アイバンク協会、九州各県アイバンク連絡協議会へ報告するとともに、県内の待機患者数等を財団ホームページに掲載し、提供を呼び掛ける。

4. 摘出あっせん業務

先天的又は後天的な角膜、強膜の疾患により、視力低下又は失明した方を角膜、強膜の移植により視力を回復させることを目的に、安全性の確保された角膜、強膜のあっせんを医学基準に基づき公平、公正に行う。

(1) 眼球(角膜)の摘出及びあっせん

角膜片については、電動トレパン、スカルペル等により眼球を摘出せず角膜を直接採取し、感染症等の評価後にあっせんを行う。

(2) 提供角膜の安全性評価

- 1) 角膜摘出時にスリットランプにより角膜の状態をチェックする。
- 2) 角膜移植に伴う感染症の発症を防ぐため、ドナーから血液を採取し、免疫血清学検査(HBsAg・HCV・HIV・HTLV-1・梅毒)を行う。
新型コロナウイルス感染症のPCR 検査については主治医の判断による(疑わしい場合は摘出しない)
- 3) 角膜の評価のため、スペキュラーマイクロスコープによる角膜内皮細胞数を検査する。

(3) 摘出に携わる関係者の傷害保険の継続

摘出に従事する際の事故等で傷害が発生した場合に備えて、傷害保険に加入する。

5. 組織適合検査の助成事業

腎移植希望者が新規登録のために行う組織適合検査(HLA検査)費用は全額患者の自己負担となっているが、25,920円と高額なことから、検査費用の一部補助(1人9,000円)を継続する。

6. 移植調査研究事業

臓器(角膜)提供希望者(ドナー)には、ドナー適応基準に基づき臓器(角膜)ごとに一定の感染症がないこと等の要件が細かく定められており非常に複雑である。各症例において適切な対応を行うため各関連分野の学会、研修会、会議等への参加をとおして、最新の情報を入手する。

また、効果的な啓発、意思表示率向上を図るための手法検討等を目的とし、県内大学と連携し、移植医療に関する調査・研究を行う。

(1) 都道府県臓器移植推進組織協議会へ参加(九州ブロック幹事)

(2) 全国アイバンク連絡協議会・アイバンクワークショップセミナーへの参加

(3) 角膜カンファレンス等への参加

(4) その他移植関係学会等への参加

7. その他事業

財団の効果的な運営を図るために関連の機関と協議して、移植医療を支える人材の育成並びに連携を図る。

また、上記調査事業等により得られた最新の情報をもとに財団の活動の活性化等に努める。

(1) 財団の各種会議において審議と意見の交換

- 1) 移植推進委員会 令和5年5月予定
- 2) 定時理事会 令和5年5月予定
- 3) 評議員会 令和5年6月予定
- 4) 臨時理事会 令和6年3月予定

(2) 関連機関との協議会等

- 1) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会（各種部会含む）
- 2) 都道府県移植医療推進組織協議会
- 3) 熊本市 CKD 対策会議
- 4) その他（ライオンズクラブ三献協力会等）

(3) 当財団の事業を広く紹介(HP、会報等)し、各団体や個人等へ支援を求める活動

- 1) 賛助会員及び支援者を募り、会員加入や寄付等を依頼する。
- 2) 移植医療に関係する医療機関、団体等と協力して、県下の移植医療についての講演会やシミュレーション等を企画する。

(4) 臓器移植連絡調整者設置事業【委託事業】 1

県から委託を受け、熊本県臓器移植コーディネーターの設置及び活動を行う。

(5) 臓器移植院内コーディネーター連携構築事業【委託事業】 2

県からの委託を受け、県内 38 医療機関に設置している臓器移植院内コーディネーターの育成・質の向上に必要な業務を行う。

(6) 都道府県支援事業【助成事業】 3

公益社団法人日本臓器移植ネットワークからの助成を受け、熊本県臓器移植コーディネーターが中心となり、県内各医療機関におけるマニュアルの整備等の院内体制整備や臓器移植関係者が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討、教育・研修や啓発等に必要事業を行う。

【参考】

1 臓器移植連絡調整者設置事業【県からの委託事業】

公益社団法人日本臓器移植ネットワークから委嘱された熊本県臓器移植コーディネーターが以下の業務を行う。

日常業務

ア 県内における臓器提供意思表示カード及び意思表示シールについて、管内における保健所、郵便局、警察署、運転免許センター等の公共施設の窓口に設置することを始め、

あらゆる機会を通じた普及啓発を行い、地域住民の臓器提供・臓器移植に関する理解を深める。

- イ 県内の臓器提供に協力いただく施設の医療従事者等に対し、臓器移植に関する制度等についての普及啓発活動を行い、臓器提供の際の協力が得られるよう努めるとともに、臓器提供に協力いただく施設等を定期的に巡回し、連携体制を整備する。
- ウ 公開講座や学校等を対象とした出前講座等を通じて、広く県民に移植医療に関する正しい知識を普及する。
- エ 県臓器移植コーディネーター専用の電話回線(携帯電話、スマートフォン等)を備え、県内の関係医療機関からの連絡・相談等に対応する。
- オ 上記ア及びイ以外に臓器移植対策を推進するために必要な業務を実施する。

臓器提供発生時業務

公益社団法人日本臓器移植ネットワークの地域オフィスと連携し、臓器提供に関する情報交換等を行うとともに、地域オフィス及び地域オフィスの主任臓器移植連絡調整者(以下「チーフコーディネーター」という。)の指示に従い以下の業務を行う。

- ア チーフコーディネーター及び臓器提供可能者の主治医と連絡を取りつつ、臓器提供可能者の臓器提供に係る意思を確認するとともに臓器提供可能者の家族に対して臓器提供・臓器移植についての説明を行う。
- イ 組織適合性検査の実施のため、臓器提供者の血液を確保するとともに、移植検査センターへの血液の搬送又はその手配を行う。
- ウ 摘出された臓器の運搬又はその手配を行う。
- エ 円滑な移植の実施を図るため、関係機関(地域オフィス、臓器提供施設、移植実施施設等)との連絡調整を行う。
- オ 臓器提供者の遺族に対し、移植患者の予後の報告を行うなど礼意をもって対応する。
- カ 臓器移植連絡調整活動(コーディネート活動)の経過等について、地域オフィス及び本県に報告を行う。
- キ 脳死下での臓器提供発生時においては、上記ア～カ以外に地域オフィス及びチーフコーディネーターの指示に基づき、必要な業務を行う。

2 臓器移植院内コーディネーター連携構築事業【県からの委託事業】

臓器移植院内コーディネーターの連携構築に必要な以下の業務を行う。

熊本県移植医療推進ネットワーク推進協議会移植医療施設部会の開催

熊本県移植医療推進ネットワーク推進協議会移植医療施設部会を開催し、各医療機関等の連携構築に必要な調整を行う。

臓器移植院内コーディネーター研修会等の開催

県内 38 医療機関に設置している臓器移植院内コーディネーターの研修会等を開催し、コーディネーターのスキルアップを図る。

指導者養成及び研修体制の整備

臓器移植院内コーディネーター研修会等で指導者となるようなコーディネーターを養成し、今後の研修体制を整備する。

先進的な活動等の視察研修

先進的な取り組みや効果的な普及啓発活動等を行っている自治体や医療機関等に熊本県移植医療推進ネットワーク推進協議会移植医療施設部会員や提供側・移植側の医療関係者等を派遣し、実際の活動を学ぶ。

3 都道府県支援事業【助成事業】

熊本県臓器移植コーディネーターが中心となり、医療機関の院内体制整備や消防、警察等臓器移植関係者が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討、教育・研修や啓発等に必要なる事業を行う。

地域連携促進活動

臓器移植に必要な体制整備を構築するため、以下の事業を行う。

- ア 移植医療に関する問題点を解決できるような院内の仕組み作りの支援や連携関係の構築のために必要な医療機関等の訪問
- イ 医療機関において、都道府県民の意思をより確実に活かすことができるような院内体制を整備するために必要な印刷物の作成等
- ウ 医療機関の体制整備状況の把握・カテゴリー別課題解決に向けた支援のための訪問
- エ 医療機関における院内マニュアルの作成、改訂の支援
- オ 医療機関における臓器提供シミュレーションの支援
- カ 熊本県臓器移植コーディネーターが近隣の都道府県における医療機関の院内体制の整備に関する情報を共有するために必要な会議の開催

意思表示促進活動

臓器提供に関する意思をより確実に活かすことができるような意思表示を促進するため、以下の事業を行う。

- ア 臓器提供に関する意思表示を促進するために必要な関係各所の訪問
- イ 臓器移植に関する知識の習得及び臓器提供に関する意思表示を促進するために必要な活動
- ウ 教育機関における移植医療に関する活動

研修活動

移植医療の推進のため、県内の臓器移植関係者が連携して行う臓器移植医療に関する以下の研修を開催する。

- ア 県内において、移植医療に関する諸問題を検討する会議・研修会等
- イ 医療機関における臓器提供に関する院内研修会
- ウ 医療機関における臓器提供シミュレーション

収 支 予 算 書

令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,508,000	1,508,000	0	
基本財産利息収入	1,508,000	1,508,000	0	
特定資産運用益	0	0	0	
受取入金	0	0	0	
受取会費	846,000	800,000	46,000	
賛助会費	846,000	800,000	46,000	
事業収益	16,400,000	17,700,000	△ 1,300,000	
角膜幹旋手数料	2,800,000	4,000,000	△ 1,200,000	
委託料収入	13,600,000	13,700,000	△ 100,000	
受取補助金等	0	1,600,000	△ 1,600,000	
補助金収入	0	1,600,000	△ 1,600,000	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	4,328,000	2,300,000	2,028,000	
寄付金収入	4,328,000	2,300,000	2,028,000	
雑収益	150	100	50	
その他利息収入	150	100	50	
経常収益計	23,082,150	23,908,100	△ 825,950	
(2) 経常費用				
事業費	15,503,100	17,505,167	△ 2,002,067	
人件費	7,552,500	7,169,000	383,500	
HLA検査助成費	180,000	180,000	0	
旅費	560,000	1,664,000	△ 1,104,000	
通信費	107,000	31,000	76,000	
消耗品費	370,000	369,000	1,000	
普及費	2,360,000	3,200,000	△ 840,000	
諸費	52,000	40,700	11,300	
広告費	48,000	48,000	0	
交通費	140,000	104,000	36,000	
謝礼金	217,000	419,000	△ 202,000	
研修費	2,780,000	2,752,000	28,000	
薬品費	70,000	117,000	△ 47,000	
印刷費	840,000	1,015,000	△ 175,000	
管理費	190,000	240,000	△ 50,000	
減価償却費	36,600	156,467	△ 119,867	
管理費	7,579,050	6,391,000	1,188,050	
人件費	4,932,240	3,903,000	1,029,240	
法定福利費	400,000	400,000	0	
通信費	300,000	381,000	△ 81,000	
消耗品費	196,810	300,000	△ 103,190	
諸費	210,000	866,000	△ 656,000	
交通費	2,000	2,000	0	
負担費	64,000	64,000	0	
会議費	400,000	0	400,000	
管理費	1,074,000	475,000	599,000	
経常費用計	23,082,150	23,896,167	△ 814,017	
評価損益調整前経常増減額	0	11,933	△ 11,933	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	11,933	△ 11,933	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
固定資産減損損失	0	0	0	
災害損失	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	11,933	△ 11,933	
一般正味財産増減額	0	11,933	△ 11,933	
一般正味財産期首残高	8,734,135	7,108,039	1,626,096	
一般正味財産期末残高	8,734,135	7,119,972	1,614,163	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
固定資産受贈益	0	0	0	
基本財産評価益	0	0	0	
特定資産評価益	0	0	0	
基本財産評価損	0	0	0	
特定資産評価損	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	8,734,135	7,119,972	1,614,163	

収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

【来期予算】

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
	移植推進事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,508,000	1,508,000
基本財産利息収入	0	1,508,000	1,508,000
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費	0	846,000	846,000
賛助会費	0	846,000	846,000
事業収益	16,400,000	0	16,400,000
角膜幹旋手数料	2,800,000	0	2,800,000
委託料収入	13,600,000	0	13,600,000
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	4,328,000	4,328,000
寄付金収入	0	4,328,000	4,328,000
雑収益	0	150	150
その他利息収入	0	150	150
経常収益計	16,400,000	6,682,150	23,082,150
(2) 経常費用			
事業費	15,503,100	0	15,503,100
人件費	7,552,500	0	7,552,500
HLA検査助成費	180,000	0	180,000
旅費	560,000	0	560,000
通信費	107,000	0	107,000
消耗品費	370,000	0	370,000
普及費	2,360,000	0	2,360,000
諸費	52,000	0	52,000
広告費	48,000	0	48,000
交通費	140,000	0	140,000
謝礼金	217,000	0	217,000
研修費	2,780,000	0	2,780,000
薬品費	70,000	0	70,000
印刷費	840,000	0	840,000
管理費	190,000	0	190,000
減価償却費	36,600	0	36,600
管理費	0	7,579,050	7,579,050

【来期予算】

(単位：円)

科 目	公益目的事業		合計
	移植推進事業	法人会計	
人件費	0	4,932,240	4,932,240
法定福利費	0	400,000	400,000
通信費	0	300,000	300,000
消耗品費	0	196,810	196,810
諸費	0	210,000	210,000
交通費	0	2,000	2,000
負担費	0	64,000	64,000
会議費	0	400,000	400,000
管理費	0	1,074,000	1,074,000
経常費用計	15,503,100	7,579,050	23,082,150
評価損益調整前経常増減額	896,900	△ 896,900	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	896,900	△ 896,900	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
一般正味財産増減額	896,900	△ 896,900	0
一般正味財産期首残高	5,627,321	3,106,814	8,734,135
一般正味財産期末残高	6,524,221	2,209,914	8,734,135
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0

【来期予算】

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
	移植推進事業		
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	6,524,221	2,209,914	8,734,135

資産別固定資産減価償却内訳表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

物 件 名 称	数 量	償却 方法	取 得 使 用	耐用 年 数	償却 率	期 間	取得価額	期首帳簿価額	当期増減額	普通償却額	特別(割増) 償 却 額	当期減損失額 当期償却額	当期償却限度額	期末帳簿価額	(減損失累計額) 償却累計額	備 考
【 器具及び備品 】																
2 - 00 ポータブルスリットランプ	1	旧定率	H18. 3 H18. 3	5	12/60		499,800	1						1	499,799	償却済
3 - 00 フリーザ付薬用保冷庫	1	旧定率	H18. 12 H18. 12	6	12/60	1	283,500	5		4		4	4	1	283,499	償却完了 償却基礎 14,174
4 - 00 抽出セット一式	1	H19定率	H20. 7 H20. 7	5	1.000		2,400,000	1						1	2,399,999	償却済
5 - 00 スペキュラーマイクロスコープ	1	H19定率	H29. 1 H29. 1	6	0.500	12	3,024,000	156,464		156,463		156,463	156,463	1	3,023,999	償却完了 改定価額 312,928
※ 資 産 計 ※ 器具及び備品							6,207,300	156,471		156,467		156,467	156,467	4	6,207,296	
※ 合 計 ※							6,207,300	156,471		156,467		156,467	156,467	4	6,207,296	